

大会開催にあたって

第32回

研究大会

日時:2010年11月27日(土)・28日(日)

会場:東京大学(本郷キャンパス)

日本現象学会

事務局 〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
関西大学文学部哲学合同研究室内
TEL: 06-6368-0322
FAX: 06-6330-3075
郵便振替 00980-9-109153
E-mail: paj2@wwwsoc.nii.ac.jp

今年度の研究大会は、東京大学本郷キャンパスに会場をお借りして開催します。プログラムは、一般研究発表、海外招待発表、シンポジウム、ワークショップからなります。

一般研究発表は3会場に分けて行われます。初日は9時45分、2日目は、10時ちょうどから開始されます。早い時間帯にも多くの方々にご参加くださいますよう、お願いいたします。今年度は海外からは、シン・アン氏(ソウル国立大学)、ビヨルン・ソルステインソン氏(アイスランド大学)に登壇していただきます。気鋭の発表にご期待ください。

初日の午後のシンポジウムは、「現象学と一人称的経験の問題」というテーマで、湯浅正彦氏(立正大学)、金杉武司氏(高千穂大学)、吉田聡氏(千葉工業大学)にご提題いただきます。分析哲学と現象学が交差する興味深い問題を掘り下げます。

今年度から応募制となったワークショップは、2日目の午後に行われます。「現実の他者経験から探る現象学の可能性について——フッサールとサルトルの場合」(オーガナイザー:中田基昭氏)と「フッサールの超越論的観念論再考」(オーガナイザー:植村玄輝氏)の二つが並行開催されます。異なった分野から、これまでに論じられることの少なかったテーマをいただきました。

多くの会員の皆様の積極的なご参加をお待ちしています。本大会に関心をもつ非会員の方々も、ぜひお誘いください。それでは東京大学でお会いしましょう。

企画実行委員長

プログラム

11月27日(土)

9:45-12:10 個人研究発表(発表30分・質疑応答15分)

第1会場(法文2号館1番大教室)

10:35 清水 暁子(東京都立大学)

ブレントラーノの心理学とヌース・ポイエーティコス概念

11:25 植村 玄輝(慶應義塾大学)

ライナッハと実在論的現象学の起源

第2会場(法文2号館2番大教室)

9:45 木村 史人(立正大学)

ハイデガーにおける「現象学」の意義と、フッサール批判

10:35 津田 良生(上智大学)

現象学の本質規定に関するハイデガーの確信と苦闘

——初期フライブルク期における現象学の本質規定と、後年の「現象学」——

11:25 君嶋 泰明(京都大学)

初期フライブルク期のハイデガー哲学とその方法

第3会場(法文2号館教員談話室)

10:35 横地 徳広(弘前大学)

《いき》と時間——九鬼試論——

11:25 永瀬 雅恵(立命館大学)

バルクソンにおける affection 概念

12:10-13:50 昼休み

第1回委員会(法文2号館哲学研究室)

13:50-15:20 【海外招待発表】(法文2号館1番大教室)

シン・アン(Shin Ahn)氏(ソウル国立大学)

"A Phenomenology of Christian-Buddhist Dialogue in Korean Religions"

ビヨルン・ソルステインソン(Björn Thorsteinnsson)氏(アイスランド大学)

"From difference to justice: Derrida and Heidegger's

'Anaximander's Saying''

司会：谷徹氏、石原孝二氏

15:30-18:30 【シンポジウム】(法文2号館1番大教室)

「現象学と一人称的経験の問題」

提題者：湯浅正彦氏（立正大学）

金杉武司氏（高千穂大学）

吉田聡氏（千葉工業大学）

司会：河野哲也氏（立教大学）

18:30— 懇親会

会場：ルヴェ・ソン・ヴェール本郷（会費 5000 円）

11 月 28 日（日）

10:00—12:25 個人研究発表（発表 30 分・質疑応答 15 分）

第1会場（法文2号館1番大教室）

10:00 青柳 雅文（立命館大学）

現象学への内在的批判

——イギリスにおけるアドルノのフッサール研究——

10:50 阿部 旬（大正大学）

フッサールにおける「ヒュレー」と唯識思想における

「阿陀那識」の生動性の現象学的比較考察

11:40 武藤 伸司（東洋大学）

フッサール初期時間論からの實在論的時間の批判的解明

——現代物理学における時間（プリゴジン）と

現象学的時間の対照考察

第2会場（法文2号館2番大教室）

10:00 廣田 智子（九州大学）

ハイデガー存在論における「倫理学」の位置づけ

10:50 山下 哲朗（東北大学）

ロゴスと真理

11:40 多田 圭介（北海道大学）

ハイデガーのカント解釈と形而上学の二重性の

問題について

第3会場（法文2号館教員談話室）

10:00 酒井 理恵子（関西学院大学）

メルロ＝ポンティにおける「野生の存在」

10:50 宮原 優（東京都立大学）

見られるものとしての身体

11:40 國領 佳樹（首都大学東京）

メルロ＝ポンティにおける知覚の恒常性

——知覚的規範としての事物——

12:30—13:30 昼休み

第2回委員会（場所：法文2号館哲学研究室）

13:40—14:10 総会（法文2号館1番大教室）

14:15—15:00 個人研究発表（発表30分・質疑応答15分）

第1会場（法文2号館1番大教室）

14:15 島田 喜行（同志社大学）

フッサール『倫理学入門』における「動機づけ」について

第2会場（法文2号館2番大教室）

14:15 赤塚 弘之（東北大学）

ハイデガーのシェリング解釈について

——〈存在の真理〉と〈自由の体系〉の連関と哲学の遂行をめ
ぐって

第3会場（法文2号館教員談話室）

14:15 小原 拓磨（東北大学）

キアスム的他者関係

——メルロ＝ポンティ後期思想からみる他者性——

15:15—17:45

【ワークショップ1】（法文2号館2番大教室）

「現実の他者経験から探る現象学の可能性について

——フッサールとサルトルの場合」

オーガナイザー：中田基昭（無所属）

提題者：大塚類（宮城教育大学）

遠藤野ゆり（山口大学）

【ワークショップ2】（法文2号館1番大教室）

「フッサールの超越論的観念論再考」

オーガナイザー：植村玄輝（慶應義塾大学）

提題者：佐藤駿（東北大学）

田口茂（山形大学）

吉川孝（高知女子大学）

【会員休憩室】法文1号館1階,113,115 教室

お知らせとお願い

1 会費納入 学会費（年間3000円）を同封の振込用紙にて早急にご納入ください。研究大会当日、会場においても受け付けます。封筒宛名右下の数字は、未払い年度数（本年度分も含む）を示します。その数×3000円をお支払いください。

2 出欠の連絡 会場準備の都合がありますので、研究大会および懇親会への参加の有無を、同封の返信用ハガキにご記入の上、11月5日（金）までに必ずお知らせください。また、返信されたハガキは名簿作成の資料となりますので、住所、所属等に変更がある場合には、その箇所を朱線をお引き下さい。

3 公式ホームページ 本学会のホームページを開設しております。各種研究会のご案内など掲載されております。ご覧下さい。ホームページアドレスは以下の通りです。

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/paj2/>

東京大学本郷キャンパス（東京都文京区）へのアクセス、文京区の宿泊のご案内につきましては、別紙をご参照ください。会場使用の関係で、大会参加費 500 円がかかります。ご協力よろしくお願ひいたします。